

# 建築士 おおた

春季号

2016 NO 116



公益社団法人 大分県建築士会

# CONTENTS

---

1. 建築士連合会全国大会大分大会告知		
12. 27年度公益事業の成果	大分支部	山崎 真司
	佐伯支部	富松 誠
14. 全国青年委員長会議参加報告	大分支部	伊藤 憲吾
16. 大分みちくさ小道実行委員会	大分みちくさ小道	
17. パッションから繋がる Kizuna in 鹿児島大会参加報告	大分支部	日高 雄介
19. インフォメーション(支部便り)	佐賀関支部	井上 雅順
21. マイワーク	宇佐支部	金田 舞香
	日田支部	笠原 健彦
22. マイベストブック	大分支部	安東 佑剛
	大分支部	佐藤 誠
24. 建築士会レクリエーション 親睦サイクリング	大分支部	宿理 浩司
26. 我が街の建築士紹介	臼杵支部	板井 優也
	佐伯支部	河野 功寛
27. マーボアの旅先日記	会 長	井上 正文
28. 事務局便り	大分県建築士会事務局	

---



## ■ 表紙説明 ■

今年度建築士会全国大会のメイン会場：  
ビーコンプラザとさせていただきます。

# 特集 第59回 建築士会全国大会 「大分大会」への いざない



本年度の建築士会全国大会は、大分県別府市で(公社)日本建築士会連合会主催、建築士会九州ブロック会共催、(公社)大分県建築士会主管により、2016年10月22日(土)に開催される運びとなった。

別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザと別府市公会堂を会場とし、大会式典、記念講演会、交流セッションをはじめ充実したプログラムが催される予定だ。大分県の各地を見学する地域交流見学会(エクスカーション)も見どころが満載で、充実した5つのコースが用意されている。

温泉県ならではの多様な文化に触れながら、建築士がかかわる地域創生について考える機会となつてほしいと思う。



## 大会概要

テーマ

「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」で地域の創生  
おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ(別府市山の手町12-1)  
別府市公会堂(別府市上田の湯町6-37)

期日…平成28年10月22日(土)

主催…公益社団法人 日本建築士会連合会

共催…建築士会九州ブロック会  
(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

主管…公益社団法人 大分県建築士会

後援…国土交通省、大分県、別府市(ほか(予定))

写真提供1・4～7…公益社団法人 ツーリズム大分



写真1 日田市豆田町のまちなみ



写真2 城下町・中津の合元寺



写真5 杵築のまちなみ



写真3 九重の山々



写真4 竹田のまちなみ



写真6 白杵の二王座歴史の道



写真7 玖珠の旧豊後森機関庫



写真8 竹瓦温泉



写真9 明礬温泉の湯の花小屋



# 主なスケジュール

写真1 提供…公益社団法人 ツーリズム大分



写真1 ビーコンプラザ

## 10月21日(金)全国大会前日 会場…別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ、別府市公会堂

プログラム	時間	場所
① 記者会見	13:30~14:30	ビーコンプラザ 小会議室32
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~17:00	ビーコンプラザ 国際会議室
③ 全国建築士フォーラム	16:30~22:00	ビーコンプラザ リハーサル室、国際会議室(交流会…レセプションホール)
④ 全国HMネットワーク協議会総会	17:00~18:00	別府市公会堂 大ホール
⑤ まちづくり大賞選考会	13:30~16:30	ビーコンプラザ 中会議室

	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
①		記者会見									
②			連合会理事・士会長合同会議								
③				全国建築士フォーラム							
④				全国HMネットワーク協議会総会							
⑤					まちづくり大賞選考会						

## 10月22日(土)全国大会 会場…別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ、別府市公会堂

プログラム	時間	場所
① 総合受付	8:30~15:00	ビーコンプラザ メインエントランスホール
② 第4回 全国ヘリテージマネージャー大会	10:00~12:00	別府市公会堂 大ホール(パネル展示は第2会議室)
③ 木造建築フォーラム	10:00~12:00	ビーコンプラザ 国際会議室
④ 和室について報告(女性委員会)	10:00~12:00	ビーコンプラザ 中会議室
⑤ 防災まちづくり部会	10:00~12:00	ビーコンプラザ 小会議室31
⑥ 福祉まちづくり部会	10:00~12:00	ビーコンプラザ 小会議室32
⑦ 街中(空き家)まちづくり部会	10:00~12:00	ビーコンプラザ リハーサル室
⑧ 地域実践活動報告(青年委員会)	9:00~12:00	ビーコンプラザ レセプションホール
⑨ 環境部会活動報告と今後の展開	13:00~14:30	ビーコンプラザ 国際会議室
⑩ 建築士のBIM活用(情報部会)	13:00~14:30	ビーコンプラザ 中会議室
⑪ 建築相談本部会	13:00~14:30	ビーコンプラザ 小会議室31
⑫ 歴史まちづくり部会	13:00~14:30	ビーコンプラザ 小会議室32
⑬ 記念講演	13:00~14:30	ビーコンプラザ フィルハーモニアホール
⑭ 折り紙建築フォーラム	8:30~16:00	ビーコンプラザ フィルハーモニアホール前
⑮ 足湯でまちづくりフォーラム	10:00~15:00	ビーコンプラザ 芝広場
⑯ 大会式典	15:00~17:00	ビーコンプラザ コンベンションホール
⑰ 大交流会	17:30~19:00	ビーコンプラザ コンベンションホール
⑱ 情報発信セッション(パネル展示)	9:30~16:00	ビーコンプラザ レセプションホール
⑲ 企業出展ブース(BIM/CAD等)	9:00~16:00	ビーコンプラザ メインエントランスホール



写真2 別府市公会堂

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
①								総合受付			
②								第4回全国ヘリテージマネージャー大会およびパネル展示			
③~⑧								木造建築フォーラム/和室について報告(女性委員会)/防災まちづくり部会/福祉まちづくり部会/街中(空き家)まちづくり部会/地域実践活動報告(青年委員会)			
⑨~⑫								環境部会/情報部会(建築士のBIM活用)/建築相談本部会/歴史まちづくり部会			
⑬								記念講演			
⑭										折り紙建築フォーラム	
⑮										足湯でまちづくりフォーラム	
⑯										大会式典	
⑰										大交流会	
⑱										情報発信セッション(パネル展示)	
⑲										企業出展ブース	

## 10月23日(日) 地域交流見学会(エクスカーション) 1日コース5コース ※いずれもJR大分駅発着 別府北浜停車

プログラム	時間	コース
地域交流見学会(エクスカーション)	8:00~16:30	Aコース 歴史と平和を考える 宇佐神宮・戦争遺跡を巡る旅
	8:00~16:30	Bコース 杵築の町並みと1300年の歴史先達・天台宗住職と巡る国東半島 特別参拝ツアー
	8:40~15:30	Cコース おおいた建築巡礼~巨匠達の名建築~
	8:00~16:00	Dコース 別府の温泉文化と歴史遺産めぐり
	8:00~16:00	Eコース 静寂な山荘と湯の坪街道の秋を巡り湯布院のまちづくりのビジョンを学ぶ ~オシャレなお土産店、カフェ、食べ歩き湯布院の真実~

## 大会式典・大交流会・記念展示・昼食

写真提供 2〜4…公益社団法人 ツーリズム大分

### 大会式典

大分大会のメインイベントです。ご挨拶、各種表彰、各界からの祝辞、大会宣言、大会旗引継ぎなど各種行事が行われ、出席会員の決意を新たにします。

式典に先立つオープニングセレモニーでは全国大会14連勝の大記録を持つ日本文理大学チアリーディング部「BRAVES」の華麗な演技に、「元氣」「勇気」「感動」を体感していただけます。

日時…平成28年10月22日(土) 15:00~17:00

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ コンベンションホール



写真1 日本文理大学チアリーディング部の華麗な演技

### 記念展示

連合会作品賞パネル展示、第6回建築甲子園表彰作品、伝統技能者の写真などを展示します(①)。

また、別府市公会堂では今春終了した大規模改修工事の記録、新築当時の原因(複製)の他大分県内の歴史的建造物の写真を展示します(②)。

日時…平成28年10月22日(土) ①9:30~16:00 ②9:30~13:00

会場…①別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ レセプションホール  
②別府市公会堂 第2会議室



写真3 ビーコンプラザ レセプションホール

### 大交流会

全国から集まった会員と年1回の大交流の場です。新鮮な大分の海の幸、山の幸をふんだんに堪能ください。多様なご当地グルメを地酒と味わいながら、多様な知恵の交歓をお楽しみください。

日時…平成28年10月22日(土) 17:30~19:00

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ コンベンションホール(西側)



写真2 にぎり寿司

### 昼食

昼食には地元食材を使った弁当を予約・販売します。また、ご当地グルメの屋台「うまいもの市」も出店します。ご購入の前に地酒のテイストリングもお楽しみいただけます。

日時…平成28年10月22日(土) 10:30~15:00  
(レセプションホールは12:00~15:00)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ レセプションホール・芝生広場



写真4 大分の郷土料理「だんご汁」





## 記念講演

### 演題

どうしたらもっと幸せになれるか、  
それを考えるのがデザイン

### 講師

かわきたひでや  
河北秀也氏 ■ iichiko アートディレクター

にし・たいちろう  
西 太一郎氏 ■ 「本格焼酎 いいちこ」醸造元、三和酒類(株) 取締役名誉会長

日時…平成28年10月22日(土)  
13:00~14:30(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ  
フィルハーモニアホール



かわきた・ひでや

1947年 福岡県久留米市生まれ  
1971年 東京藝術大学ヴィジュアル・デザイン卒業  
1972年 東京地下鉄路線図のデザインをつくる  
1974年 日本ペリエールアートセンター設立、主宰  
1974~1982年 営団地下鉄(現東京メトロ)のマナーポスター「帰らざる傘」「独占者」など、次々と傑作をつくる  
1983年~現在 焼酎「いいちこ」の商品企画、パッケージ、テレビCM、ポスター、雑誌広告、出版などすべてを企画デザイン  
2003~2015年 東京藝術大学デザイン科教授  
日本パッケージデザイン大賞、グッドデザイン賞など受賞多数



にし・たいちろう

1938年 大分県宇佐市生まれ  
1960年 東京農業大学農学部醸造学科を卒業後、同年同社に入社  
1989年より代表取締役社長・会長を歴任し、2009年より現職  
「酒は地域の文化」「企業がつくり出す商品の文化」と文化活動に積極的な理解を示し、地域活性化にも情熱を燃やしている。また、同社の会長になった今も「iichikoを世界の酒に!」を合い言葉に、営業マンの一員として、全国各地に足を運んでいる

## 第4回 全国ヘリテージマネージャー大会 テーマ 歴史的建造物の 活用推進と法規制

運営 ■ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

今日循環型社会において、歴史的建造物の積極的な有効活用は社会的なニーズとなっているにもかかわらず、現行法規が足枷となり、既存不適格となる歴史的建造物の多くが有効活用の道を閉ざされ、空き家化や解体滅失といった問題が深刻化している現状にあります。また、法適合のために保有価値を損なう改修が行われたり、法規の遡及を逃れ安全性の検証が不十分なままでの強引な活用に起因する弊害が社会問題化しています。これらの問題に対処するため、より有効で柔軟な法規制のあり方が望まれています。

平成26年4月1日国土交通省住宅局建築指導課長発信文書(技術的助言)により、建築基準法第3条第1項第3号の規定(建築基準法適用除外規定)の運用等についての緩和措置が講じられました。この「技術的助言」を活かして歴史的建造物の積極的で円滑な活用を推進しようとする取り組みが始まっています。

今回は、開催地大分県をはじめ各地の保存活用の取り組み・活動に学び、歴史的建造物の活用推進と法規制について議論します。



大会イメージ(昨年度より)

日時…平成28年10月22日(土)  
10:00~12:00(CPD…2単位)  
会場…別府市公会堂 大ホール  
定員…300名(予定)



別府市公会堂外観

同時開催

[交流セッション]

## ヘリテージマネージャー 交流セッション(パネル展示)

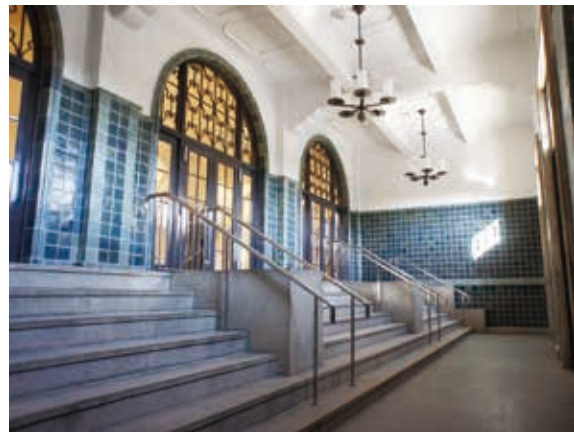
運営 ■ 大分県建築士会

別府市温泉街の一角に佇む「別府市公会堂」は、昭和3年に建てられ、現在も市民が集う公民館として活用されています。設計者の吉田鉄郎氏は、通信省営繕課で東京・大阪の中央郵便局をはじめ、優れた近代建築を設計しました。

別府市指定文化財のこの建物は、ストックホルム市庁舎(ラグナル・エストベリ設計)の影響を受けているとされており、昨年度耐震改修や正面玄関の復元工事が完了しました。全国ヘリテージマネージャー大会と併せて、会場である別府市公会堂の改修前および改修工事の内容などのパネル展示を行います。

日時…平成28年10月22日(土) 9:30~13:00(CPD…対象外)

会場…別府市公会堂 第2会議室



別府市公会堂、復元された正面玄関



別府市公会堂 大ホール





[交流セッション]

## 木造建築フォーラム

テーマ

# 地域でたちあげる これからの木造建築

運営 ■ 大分県建築士会

日本の資源である木材が成長し、その多くが伐期に直面しています。そのため各地域の森林資源を建築に活用し、地域の活性化を図ることが求められます。日本の文化である木造建築を今あらためて見詰め直す時期です。

フォーラムの第一部では、日本の森林状況と地域の木造建築の可能性を腰原幹雄氏(東京大学生産技術研究所 木質構造デザイン工学 教授)にお話しいただきます。第二部では、これからの近代木造の可能性をディスカッションします。パネラーには国内で活躍する木質構造の第一人者を揃え、これからの木造建築の可能性を探求します。

木造建築を通し、国内生産体制の認識向上や世代間継承の推進、エリアネットワークの構築、地球環境への意識まで、幅広い展開が期待されます。

日時…平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 国際会議室

定員…300名(予定)



木構造を採用した大分県立美術館「OPAM」(設計…坂茂建築設計)



壁面の木造トラス



木構造を用いた天井

[交流セッション]

## 折り紙建築フォーラム

運営 ■ 大分県建築士会

大分県建築士会が折り紙建築教室を始めて20数年。毎年10数回、小中学校、地域の子ども会などで教室を開催するほどになり、大学の講義にも取り入れられています。

誰でも自由に、随時参加できる折り紙建築教室を開講します。

日時…平成28年10月22日(土) 8:30~16:00(CPD…対象外)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ フィルハーモニアホール前

定員…特になし



熱心に取り組む子どもと完成した折り紙建築

[交流セッション]

## 足湯でまちづくりフォーラム

運営 ■ 大分県建築士会

仮設の足湯に浸かりながら、世界で唯一硫黄華を採取する湯の花小屋の歴史を座談会形式で楽しんでいただきます。

日時…平成28年10月22日(土) 10:00~15:00(CPD…対象外)

会場…別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ 芝生広場

定員…特になし



足湯イメージ

## 女性委員会セッション

テーマ

### 和室について報告

運営 ■ 女性委員会

女性委員会では平成27年度に25周年を迎え、「未来へつなぐ居住環境づくり」をテーマに全国女性建築士連絡協議会を開催しました。

平成28年度はそのテーマを引き継ぎ、奈良県にて全国の建築士会および学生に対して実施したアンケート結果をもとに、和室や和の要素を改めて見直すことをテーマに「日本の暮らし——豊かな生活文化の再発見」として開催いたします。

先人の築いた知恵と工夫を見つめ直し、美しい日本の住まいのあり様を次の世代に引き継ぐことについて協議した結果を踏まえ、全国大会ではキーワードとなっている地域の創生をベースに、女性委員会で



昨年の大会セッションにて

取り組んでいる超高齢化社会を見据えたこれからの「日本のくらしのあり方」についての取り組みを考えます。

日時…平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ1階 中会議室  
定員…200名(予定)

## 防災まちづくり部会セッション

テーマ

### 災害多発時代に どう向き合うか

運営 ■ 防災まちづくり部会

東日本大震災から5年。これまで多くの建築実務家が被災地に入り、さまざまな立場で復興に携わり具体的な提案を行いました。しかし、優れた提案も行政や住民に信頼されず、受け入れられない結果となっています。

会誌『建築士』3月号では、三井所会長をはじめ連合会の関係者、まちづくり、防災の専門家と交えて、「災害多発時代にどう向き合うか」について話し合いました。そのなかでは、建築士は、住まいや生活環境づくりを通して地域住民の暮らしを支える大きな役割がある。だからこそ、建築士や建築士会が行政や地域住民と「普段づきあい」することの大切さが強調されています。



座談会「災害多発時代にどう向き合うか」より

そこで防災まちづくり部会では、部会委員の所属建築士会が実践してきた防災活動の取り組み事例を発表・検証しながら、テーマについて議論を深め、次の活動につなげたいと考えています。

日時…平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 小会議室31

定員…120名(予定)

## 福祉まちづくり部会セッション

運営 ■ 福祉まちづくり部会

国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、地域包括ケアシステムを実現するとされています。地域包括ケアシステム施策で中心とされる「住まい」に関しては、住宅のバリアフリー化のほかにも、心身のケア・リハビリや、地域ケアの円滑な利用に役立つ部屋・設備の配置・温熱環境・色彩など「新しいバリアフリー」の考え方のような要介

護者の暮らしを支える改善が重要となります。

要介護者の心身の特性に配慮した設計とするためには、医療・介護専門職との連携は不可欠であり、改善提案を行う建築士が、地域包括ケアシステムを担う地域資源のひとつとして位置づけられることが重要です。そのための今後の方策を、活動事例報告や各方面からの専門家、参加者からの意見を交えながら協議します。皆様の参加をお待ちしています。



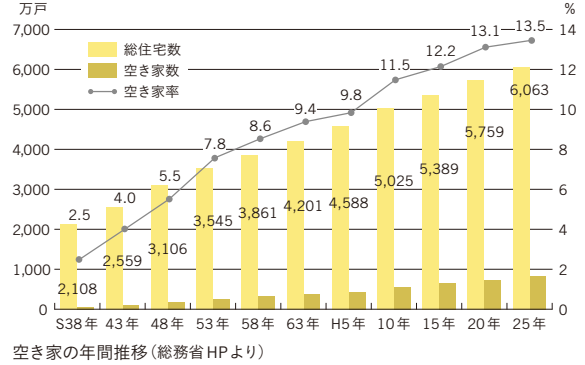
## 街中(空き家)まちづくり部会セッション

運営 ■ 街中まちづくり部会

全国的な課題となっている「空き家」。会誌『建築士』でも昨年6月号で特集が組まれました。「建築甲子園」も「地域の暮らし——空き家を生かす」という課題で、建築をめざす高校生に、「空き家」についての諸解決策や考えを問いました。また、昨年度の全国まちづくり会議でも、全国から集まった各単位建築士会のまちづくり委員長などが、空き家も含む歴史的建造物の利活用のために知恵を絞り、議論されました。

連合会では、2015年度に「街中(空き家)部会」が立ち上がりました。連合会の持つ全国のネットワークで国交省事業の「空き家適正管理補助事業」の採択を受け、年度内にその事業(「建築士会等による空き家の適正な管理方策検討事業」)の成果を提出したところです。建築士が地域の中で「空き家」を新たなビジネスの領域として広げられるかといった視点による研究と、これからの実践の提案でした。

今回は、前述に挙げたさまざまなことから、これらに関与した人々の報告を聴き、自らの地域での課題解決に一石を投じたいと思います。



日時…平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザB1階 リハーサル室

定員…210名(予定)

## 青年委員会セッション

テーマ

### 地域実践活動報告

運営 ■ 青年委員会

全国で展開している青年層建築士の地域実践活動をブロックごとに選出し、一同に発表します。各地域での建築に関する認識を深め、また、「地域に根づく建築士」としての周知を含めた活動事例を参加者で共有し、今後に向けた活動の問題点の協議、ブラッシュアップを兼ねたワークショップを行います。着目点は各地域によりさまざまですが、これからの建築業界に向けた一般参加型事業や、防災・環境・福祉など地域の方々と考える事業、建築士のスキルアップにつながる事業など、参加される方にとって、気づきがある時間となるような企画を行います。

また、発表事例を参加者で吟味し、優れた事業に対する表彰を行うことにより、発表者のアピール力、情報のまとめ方など「建築士×伝える



発表風景イメージ(昨大会より)

力」を実際に見て感じていただくものとなるよう企画を進めています。これからの建築士・建築士会を担う青年建築士の発表をお楽しみください。

日時…平成28年10月22日(土) 9:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ2階 レセプションホール

定員…450名(予定)

日時…平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 小会議室32

定員…45名(予定)

地域包括ケアシステムのイメージ(厚生労働省資料より)





## 環境部会セッション

テーマ

# 地域型住宅・ 省エネガイドラインについて 考える

運営 ■ 環境部会

いよいよ、国交省から省エネ基準のガイドラインが2016年春に発表されました。次は各地域から、単位士会が主体的に気候風土適応住宅の認定のガイドラインをもとに考え、行政と連携して地域独自に策定した気候風土適応住宅の認定指針をつくり上げることが求められています。京都市、高知県、熊本県、岩手県、志木市などは4月からその動きを始めています。これらの先行事例の報告と、今後の地方士会での展開について考える機会とします。

内容は、①昨年作成したよくわかる環境建築テキストの紹介と各地方士会への普及啓発、②伝統木造住宅と省エネ基準に関する公開フォーラムの報告と国交省との協議の報告の後、③地域型住宅・省エネガイドラインモデル地区の活動について報告と課題を提出します。



環境フォーラム案内(2016年1月実施)

日時…平成28年10月22日(土) 13:00~14:30(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 国際会議室

定員…300名(予定)

## 情報部会セッション

テーマ

# 建築士のBIM活用 リノベーションとBIM — 活用と成果

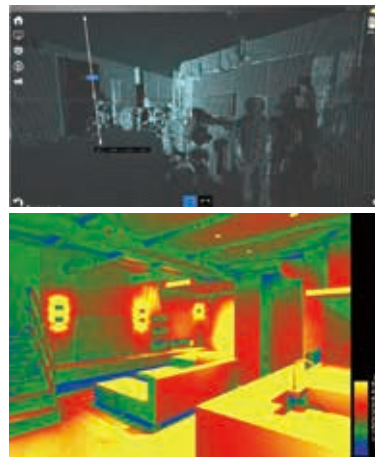
運営 ■ 連合会情報・広報委員会 情報部会/BIM TF

コンピューターで仮想の建物モデルを作りながら設計を進める手法であるBIM(ビルディングインフォメーションモデリング)。欧米では7割を超える建築士が活用しているとも言われ、日本でも大手のゼネコンや組織設計事務所を中心に2009年頃から普及が始まりました。

日本建築士会連合会では2013年の全国大会鳥根大会以降BIMフォーラムを開催し、BIMの効果と課題を討議しました。毎回150名を超える熱心な参加者に支えられ、会員の中でも徐々にBIM活用の動きが広がっています。

一方、建築市場は新築からリノベーション(リフォーム)へ大きく転換し、建築士の業務もインスペクション(住宅検査)など改修にかかわるものが増加しています。

点群(ポイントクラウド)によって現況建物を立体的に測定し現況調査に役立てたり、環境解析によって省エネ改修の効果を事前に把握したりするなど、改修にかかわるBIMを活用した新しい業務プロセスが



3Dスキャナによる点群測定結果とBIMによる照度解析結果

広く普及し始めています。

そこで今回は、リノベーションをテーマにBIMがもたらす効果を参加建築士と考える場としたいと考えています。

日時…平成28年10月22日(土) 13:00~14:30(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ1階 中会議室

定員…200名(予定)



## 建築相談本部会セッション

テーマ

# 面接相談と裁判所の 建築調停

運営 ■ 建築相談本部会

一般消費者が、専門家である建築士に、建築の知識や建築トラブルに関して相談する件数は毎年増え続けていて、その内容は複雑化しています。建築士会の建築相談会は、建築士会の地域貢献と、社会にとって役立つ建築士の存在をアピールできるとともに、個人の建築士にとっても有意義な活動となります。

建築相談会から現地相談、現地調査、報告書作成業務へと続く一連の建築相談の枠組を広げることも重要です。そして、47都道府県の全国的な組織である建築士会の建築相談体制の整備・拡充が望まれています。

建築士会における建築相談活動は、①建築士会の地域貢献と社会に役立つ建築士の存在をアピールする。②建築界の信頼を取り戻す原動力とする。③全国の建築士会の建築相談を活性化する。④建築相談の体制づくり。⑤建築相談を担当する相談員の研修——の5つを柱としています。

今回は、建築相談委員のレベルアップを目的に、「建築士会の面接相談会」と「裁判所の建築調停」はどう違うかをパネルディスカッション形式で討議したいと思います。



建築相談本部会セッションではパネルディスカッション形式での討議を予定

日時…平成28年10月22日(土) 13:00~14:30(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 小会議室31

定員…120名(予定)

## 歴史まちづくり部会セッション

運営 ■ 歴史まちづくり部会

歴史まちづくり(以下、歴まち)部会では、地域の歴史的資産(建築物等)やその周辺の景観を保存・活用することにより地域の活性化を図ることを目的に、人材の育成、自治体との連携推進、調査研究やガイドラインの作成、法整備等の活動を行うこととしています。

全国では、すでに地域の歴史的資産を活かしながら、その地域の実情に合った手法で歴まち活動が進められているところもあります。それらの活動事例や情報を共有することは、今後各地で進められる歴史的資産を活かしたまちづくりに大いに参考になり、今回の歴まち活動報告会は、全国での歴まち活動の新たな展開や効率よく推進するため、そして目的を同じくする仲間をつくるためのキックオフ会となることでしょう。

歴史の積み重ねのないまちはありません。担当スタッフではすべての都道府県からご参加いただけることを願っています。全国の歴まち活動を実践している皆さんや興味のある皆さんの参加をお待ちしています。



歴史まちづくり部会セッションイメージ

日時…平成28年10月22日(土) 13:00~14:30(CPD…2単位)

会場…別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ3階 小会議室32

定員…45名(予定)

大分支部 山崎 真司

### 建築模型製作体験の報告

昨年8月に、鶴崎工業高校にて建築学科の生徒を対象に「建築模型製作体験」を行いました。開催日は、夏休み期間中で資格試験と日程が重なったこともあり、参加者は1～3年生で計35名程でした。

大分支部では、これまで市内の小中学校を中心に毎年「折り紙建築教室」を行っており好評をいただいております。しかし、社会人を前にした高校生にとって「折り紙建築」はハードルが低いため、普段学校で行う実験や製図といった授業では体験出来ない、将来に有効な体験は何かを模索した結果「建築模型製作」に辿り着きました。

進学及び就職を目前に控えた工業高校建築学科の生徒を対象に建築模型製作の体験学習を行い、建築を立体的に把握することで、建築に携わることの楽しさや可能性、そして建築の魅力を感じてもらうこ



とを目的としました。

模型製作体験を行うにあたり、3時間という限られた時間の中で何が作れるかを模索し、造形的にも話題性にも申し分ない、オープンしたばかりの「大分県立美術館（OPAM）」を題材にすることにしました。県や美術館のご協力を頂き、いざ型紙を作って試作してみると、簡略化しているとはいえかなりの時間がかかりました。その後試行錯誤し修正を加えながら、ようやく型紙が完成しました。それでも製作に3時間以上必要としたため、時間内完成は難しいと思いましたが、大切なのは頭で完成形を想像し、手を動かし組み立てていくということ。要領が分かれば、後は時間をかければおのずと完成します。時間内完成用に超簡略化することも出来ますが、完



成した模型がおもちゃの様では意味がありません。

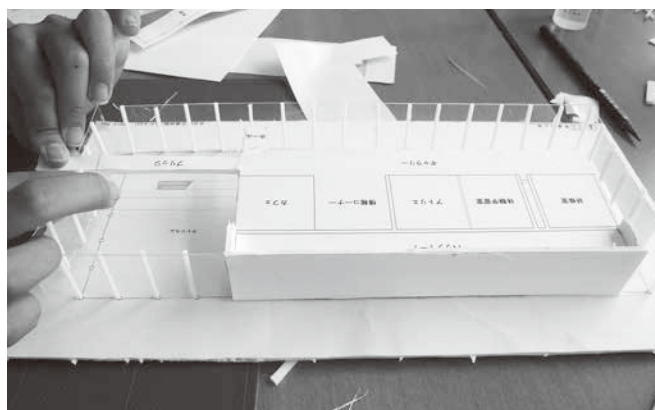
実際、時間内に完成した生徒はいませんでした。

いよいよ製作開始です。材料の効率性や、相談して協力できる環境として約5名ずつのグループに分かれて作業していきます。講師の説明に耳を傾け、見本模型を手に取りながら進めていきます。

模型製作初体験の生徒が多かったものの、そこはさすが建築学科の生徒、普段製図や授業で建築を学んでいるだけあって呑み込みが早い。始めは机の上で作業していましたが、大きなスペースがやり易いと床に座って作業する生徒もいました。

模型の材料に触れて、柱・壁やガラス等実際の建築ではどの部分なのか想像しながら製作するため、作っているのは模型でも飛び交う言葉は「この壁どこかな?」「柱多くない?」など、どうすれば効率よく作れるかも考えながら製作することが出来たと思います。

今回初の試みでしたが、建築過程や精度、そして何よりものづくりへの関心がより高まったとの声が聞かれました。模型を作ったことがあるということが財産となり、建築への関心を深め少しでも建築に携わるきっかけになればと思います。今後も続けていきたい事業です。





# 平成27年度 公益事業の成果

佐伯支部

佐伯支部 富松 誠

今回、建築士会に加入して初めての公益事業に参加をしました。議題は「建築士と防災士から学ぶ災害への備え」です。

防災危機管理専門員の市原氏と建築士会の河野さんに講演をしていただきました。映像と資料を交えた解り易い説明の中で忘れかけていた災害の怖さを思い出し、住宅の耐震性能の重要性を再度認識する事ができました。

我が家は米水津の海のすぐ近くにあるのですが、今回の講習の中で説明された津波の到達時間と最高高さが26分と12m強で佐伯市の中で2番目に被害が大きい地域でした。米水津は海の側なので年2回の防災避難訓練には多くの人に参加しています。私も消防団として毎回参加をしていますが「本当に大

津波が来た時には仕事場にいるはずなのに」と疑問を抱きながらの参加で、もっと地区の人を中心とした訓練の重要性を消防団でよく話し合っています。ちなみに私の妻は私以上に防災意識がしっかりしていて、東日本大震災後から避難セットを用意して避難訓練に参加をしています。

私もこれからは、そんな妻を見習いながら防災意識を高め、その気持ちを建築にも活かしていきたいと思います。



# 平成27年度 全国青年委員長会議 『次世代につなげる』 ～建築(士)の魅力をアピール×全国一斉アクション～

大分支部 伊藤 憲 吾



平成 28 年 3 月 5 ～ 6 日の二日間に渡り全国青年委員長会議が東京であり、大分県建築士会青年委員会副会長として初めて参加をさせていただきました。会場は木材・合板博物館（ジャパン建材株式会社）です。



まずは会場近くの建築見学です。新木場という地域です。地名から木材の場所として想像されます。見学したのは「東京木材問屋共同組合」です。残念ながら内部見学はできませんでしたが、RC造と木質感のバランスが心地よい建築でした。

さて、本題の青年委員長会議の内容をご報告いたします。全国の 47 都道府県の青年委員長が集まる会議です。皆さんスーツです…私だけラフな姿での参加となりました。以後、気をつけます。



最初は联合会委員によるパネルディスカッションが行われ表題にある「次世代につなげる」が話しあわれました。続いて、その内容を踏まえワークショップが行われました。ワールドカフェ方式というやり方で進行されました。リラックスした雰囲気での

ワークショップでした。

次世代というテーマを切り口に議論が交わされました。建築士の不足、会員数の減少などを踏まえ、今後どのように活動すべきか？概ねそういった主題で展開されたように思います。私の意見としては「時代の変化における建築士の転換及び領域の拡大を考えなければ、次の世代に応えることにはならないのではないか？」という意見を主軸に議論をさせていただきました。

続けて、各地での取り組みなどを話しながらの議論になり大分県としては、リノベーション講座、接遇講習、おりがみ建築等々、多様な取り組みをしていることを挙げました。それらが問題は、人口減少・建築士会だから出来る事・人材育成等々の問題意識より始まった事を伝え、同テーブルの皆さんの賛同を頂く事ができました。我々、大分県建築士会は全国的にも活発な姿勢だと感じました。



初日の夜は、東京建築士会さんの企画による屋形船での交流会となりました。屋形船でもんじゃ焼きを食べるのは初体験でした。

主催者の計らいで乾杯の挨拶をさせていただきました。しっかりと全国大会のPRを笑いを交えてきました。

(屋形船の天井は低いです。)

二日目は基調講演からのスタートです。講師は中田弾さん（一般社団法人D&A Networks 代表理事）でした。ワークショップを通して活躍されている方です。ワークショップの行い方や可能性を改めて知りました。

基調講演後には前日に話しあった事を元にしてテーブルをグループ分けし、今後、各県で行いたい企画の検討をしました。私の着いたテーブルは「地域イベント・まち歩き」です。ここで決めた取り組みを2年後の全国大会時の青年委員会で報告をすることになります。

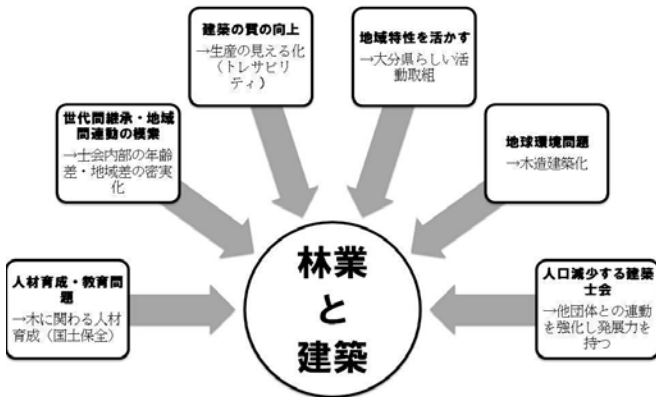


テーブルの共通の目的が話し合われました。いくつかのキーワードを挙げました。ネガティブなキーワードとしては「継続性の難しさ」ということが多かったように思います。その打開を含め発展力を持つ為には、「脱ボランティア・稼働性・事業性・地域性特化力」などがありました。



その内容をテーブル代表として発表させていただきました。終始、お金が大事だと説明したので、少し下品に見えたかもと反省しています。(右手が羊を表しています)

大分県として今後取り組みたい事として「林業と建築の再定義」を上げさせていただきました。それにはいくつか思いつく要因があるので列記図にします。



大分らしく、日本らしく、木造文化を改めて育てる事が未来の建築士に伝える事になり建築士会の魅力創出に繋がると考えました。来年度以降、この取り組みに挑んでみたいので皆様方の協力をよろしくお願い申し上げます。

委員会終了最後に全国大会PRの時間を頂きました。会場の皆さんの記憶に残るようにしっかりとお伝えしましたので、たくさんの方がお越しいただけるとと思います。(プレゼンデータの一部を載せておきます。)



東日本の皆さん確認しました  
 札幌→大分 飛行機で3時間35分 直線距離1380km  
 東京→大分 飛行機で1時間40分 直線距離 800km  
 石川→大分 飛行機で3時間30分 直線距離 600km  
 そんなに遠くない！！

開催日時  
 2016年10月22日

イチローの誕生日です。  
 パラシュートの日です。  
 覚えましたか？



大会テーマ発表  
 「ひとつのまちづくり」  
 「まちづくりと地域創生」  
 おんせん県で湧きあがった知恵  
 覚えましたか？



(おんせん県のPRもしておきました)

最後になりますが、二日間とも充実した時間を過ごさせていただきました。全国の方とお話することで色々な展望も見えて参ります。これからの大分県建築士会の在り方にも想いが深くなりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



(追記)

実は二日間ともに喉を痛めておりまして、満足なディスカッションとプレゼンではありませんでした。なんとか声を出し、帰ってきた際には声が出なくなっていました。体調あつての活動です。皆様もご自愛くださいませ。



# 大分みちくさ小道

大分みちくさ小道実行委員会

大分みちくさ小道という団体、活動をご存じでしょうか。私達、大分みちくさ小道は、誘い人（案内人）と大分のまちを歩くことによって、町の良さを再発見するという活動を行っています。

大分の良さを知って頂き、また、それを知る事によって、大分自慢ができる人が増えればと思っています。

はじめて開催した2012年は30のまちあるきプログラムを行いました。2013年は33プログラム、2014年は「OPAM誕生祭」関連イベントとして25プログラムを実施。昨年、2015年はアートフェスティバル「おおいたトイレンナーレ2015」のまちなか体験イベントとして、商店街を会場にしたビアホールや大分城址公園でアウトドア体験など、今ある場所をどう活用するかをテーマにしたイベントを企画しました。

4年間まちあるきイベントを継続したことで、定番のまちあるきプログラムも誕生しました。そのなかでもJR九州大分支社の皆様にご協力いただきました「JR九州大分駅&大分車両基地バックヤードツアー」が一番の人気プログラムです。2015年は内容をパワーアップ、「目指せ未来の鉄道員！車掌シミュレーター体験と車両基地見学ツアー」として開催させて頂きました（写真）。



建築士の方にご協力頂いたまちあるきもあります。「おおいたアーキテクてく」～坂 茂展ガイドと大分中部建築ガイドまちあるき～を2013年12月に開催しています。



このまちあるきでは、大分中心部建築ガイドの部分を「+A」の皆さんに担当して頂きました。この時は時間の関係上、スライドで建築の写真を見ながらの解説でした。「実際の建物を解説付きで見たい」という声が多くありましたので、建築士の方とのまちあるきプログラムをまた実現したいです。

普段見慣れている町並みや建物も誘い人が語る事によって、知らなかった事を知る事ができる、そんな新たな発見がまちには、まだまだあります。

大分みちくさ小道では、これからも、「知りたい」「あの人の案内でまちを歩きたい」を実現させていきます。

大分みちくさ小道と一緒にまちを歩いてみませんか。

もちろん、誘い人としてのご参加もお待ちしております。

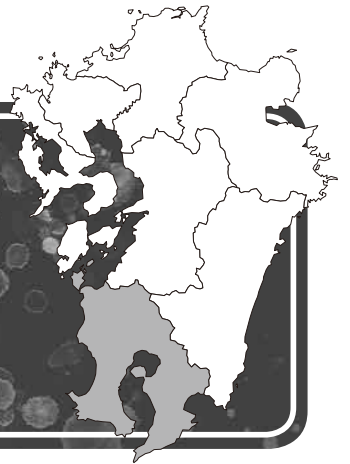


大分みちくさ小道 <http://oitamichikomi.com/>

# パッションから繋がる kizuna in 鹿児島 参加レポート

～新時代の建築士会のカタチを鹿児島で見た～

大分支部 日高 雄介



2016年2月13日(土)・14日(日)に鹿児島で開催されたパッションから繋がる kizuna in 鹿児島に参加させて頂きました。

大分からは総勢約20名、今年の秋の建築士会の全国大会が大分で開催されるのでそのPRも兼ねての参加となりました。



開催地は鹿児島市の中心部のドルフィンポート。今回は直前の週に桜島が大きめの噴火をしたので山の頂上の方までは見えませんでした。普段は鹿児島でもかなり良いロケーションで桜島が見渡せる事を想像させる商業施設での開催でした。

鹿児島に着いて、まずはやはり黒豚でしょう！！との事で会場にある黒豚のお店で腹ごしらえ、ビールまで頼んじゃってテンション全開になり、見事に最初の全体大会には大分チーム6人で遅刻しての入場となりました。ご迷惑をおかけした鹿児島県建築



士会の皆様この場をお借りしてお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

全体大会が終了した後は、5つの分科会に分かれて活動開始です。私はトークセッション、桜島体験、ソフトバレー、遺跡散策、婚活パーティの中から、第1分科会に参加させて頂きました

第1分科会は会場でもあるドルフィンポートの未来を語るトークセッション。事前に調べたところ、事業者が県都の借地契約を行ってるのが2020年まででその後の計画は白紙である事。また、2020年に開催される鹿児島国体のためにさいたまスーパーアリーナ級の巨大施設を建設する話があり、住民からは大きな反対の声が上がってる事を知っていました。



僕自身も大分では建築士会での「魁！！リノベ塾」や、大分の鉄道残存敷の利活用を考える任意団体「チームてつあと」、移住活動系コミュニティ「大分移住計画」に関わっていて地域活性化については常日頃から考える事が多いので今回のトークセッションもとても興味がありました。

一緒のチームになった鹿児島県の建築系の専門学校で学ばれてる学生さんと先生から話を聞いた所、近くの桜島からは新鮮な野菜が日常的に運ばれてる事、漁業も行われてる事、そして会場の近くでは定期的に朝市が開催されてる事を知りました。

桜島を一望する事の出来るロケーション、新鮮な野菜、魚、そしてコミュニティの存在があつてそれ



だけでもかなり魅力のある土地だと感じましたし、果たしてそれ以上に巨大アリーナの建設が必要なのかという事を強く感じました。

これからの地域の活性化に必要なのは利益のあるかないか分からない巨大な投資をして、住民の税負担を重くする事では無く、「今あるものをいかに上手く使ってその土地の魅力を掘り起こしていくか」というスタンスだと感じます。まずは鹿児島の方が自分たちの街の魅力を知る事が地域活性化の第一歩だと思います。



「建築士はここにどんな夢を見るか」というセッションでしたが、少し「夢」とはかけ離れた「現実」寄りのセッションになったかと思いますが、僕ら建築士は「夢」だけを見て建築を作っている訳ではないという事を再確認した大変面白いセッションでした。

その後の懇親会では鹿児島の宇宿小学校の子どもさん達の太鼓や、鹿児島の方々や他県の方々と交流させて頂き、今年の大分開催の全国大会のPRも存分にさせて頂きとても内容の濃い懇親会となりました。



今回、私自身は kizuna には前のパッションから通じて初めての参加だったのですが、とても素晴らしい取り組みだと感じました。

建築士会の公式的な事業ではないので、それほど多くの予算がある訳ではなく、参加者の参加費のみでの運営となっているため、参加者はそれほど多くは無いかも知れませんが、イベントの楽しさは建築士の集いやおおいた建築セミナー同様の楽しさがありました。

大きなお金を使って意義のある取り組みを行うのは当たり前ですが、予算がなくても自分たちの出来る限りの事を行っていかに意義のある取り組みを作り出していかさういスタンスがこれからの建築士には求められるように思います。

建築士会も例外ではなく人口減少などにより会員数が減れば今のように連合会を中心とした予算消費型の事業が出来なくなる未来がくる可能性は高いです。その時にこの kizuna のような取り組みはこれから建築士会においてとてもヒントとなる取り組みだと感じました。



翌日は、鹿児島県内の建築物、会場近くの石造建築のリノベーション建築群。そしてかごしま環境未来館や、鹿児島カテドラル・ザビエル教会に行きつくりと大分に帰らせて頂きました。

最後になりますが、この取り組みを最初に始めた建築士会の方、そして今回お世話になった鹿児島県建築士会の皆様、同行するに際し車の運転をして頂いた竹宮さん、そして同行して頂いた首藤さん、瀧石さんご家族にお礼申し上げます。

皆様、秋の大分での全国大会でお会いしましょう！！







## 佐賀関支部活動報告

編集委員 井上雅順

本支部は公益事業活動の一環として佐賀関の歴史を活かしたまちづくりに力を入れています。

活動の基本理念は、幕末の志士である勝海舟や坂本龍馬が来関し、徳応寺に宿泊した史実に基づき「もつとこの事を広く知ってもらい、まちづくりや観光に役立たい。その為には建築士会として街並みや龍馬ゆかりの遺構の保存・PRをしよう」というのがテーマです。

過去の公益事業のおさらいですが、25年度は町内の歴史スポットと建築士会佐賀関支部主催の無料リフォーム相談会をコラボさせた「まちあるきマップ」を八千部作成し配布・PR活動をしました。

26年度は、龍馬達一行の寝食の世話をした旧家の屋号等の看板を新しく作り直し、28カ所設置しました。これには、地元の観光ボランティアガイドの方達も大変喜んでくれました。

27年度には、勢いづいたメンバーは「観光ガイドができるようになってこそ本物」とばかりに先輩ガイドの方達に教えを乞い、ボランティアガイド養成講座を受講しました。



(受講風景)

「一体俺たちはどこへ向かっているのだろう…」という小さな疑念には気づかないふりをし、計3回の講

義を受けたメンバーは「自称・観光ボランティアガイド」として華々しく平成27年11月8日の「まちづくりセミナー」にてデビューを飾る事となりました。

セミナーへの参加応募については、県内の各支部や一般・学生の皆さんに広く周知し、他支部から14名、一般6名、サポート役の地元ガイド6名、支部会員9名、総勢35名でした。

テーマは「神話と幕末の歴史から読み解く～佐賀関の繁栄を支えたまちなみと歴史的建造物を訪ねて～」です。

佐賀関市民センターで開会式のあと、プロジェクターと資料を使い佐賀関における幕末の時代背景や龍馬達が来関した経緯、現在までの佐賀関の栄枯盛衰を説明し、これまでの支部の活動経過報告をいたしました。



(活動経過報告)

みなさん真剣に聞いてくださり、メモをとる方や「ほー」と感心される方などいてうれしかったです。

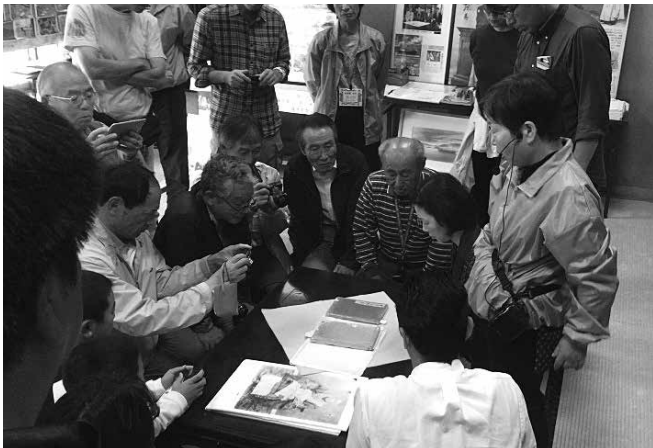
そのあと2班に分かれて時間差で町内散策にスタート。

ルートは市民センター横の港（龍馬上陸の地）～関あじ関さば通り（旧家の屋号が点在）～徳応寺（龍馬達が宿泊）～番所跡（細川藩の殿様が休憩したり罪人を留置していた複合施設）～権現通り（早吸日女神社への参道）～早吸日女神社（県有形文化財）～市民センター帰着…のルートです。

各班のガイドを担当したメンバーは「どうかマニュアルに無い質問が来ませんように」と祈りつつ笑顔で観光案内や看板の説明をしました。…が、やはり言葉足らずな所は先輩ガイドの方が、フォローしていただき、どうにか無難にメインイベントの徳応寺へ。

この日は住職が不在だった為、住職の奥さん&先輩ガイドの強力タッグで参加者への説明をしていただきました。

このお寺には、龍馬一行が宿泊した際に当時の第十世住職 東光龍潭(とうこうりゅうたん)が絵日記風の宿帳「日本人物誌」を残しており、それが現存しているのです。それを今回だけ特別に見せてくれました。宿泊者の名前の欄には「勝麟太郎(海舟)」や「坂本龍馬」(偽名でなく実名は珍しい)の名前が書かれており、お酒や料理の内容など、町をあげて手厚くもてなした事がわかります。この住職の書いた絵が決め手となり、彼らが乗っていた船・長崎丸がそれまで歴史学者が考えていたものと違う型(蒸気船)だという事がわかり、大変貴重な発見になったと言われています。



(徳応寺にて)

日記帳の和紙は経年劣化や虫食いが進んでおり、奥さんは手袋をし、ピンセットを使いながら慎重にページを一枚ずつめくり、みんなに見せてくれた上、写真撮影まで黙認してくれ、「お、奥さんそんなとこまで!？」とこちらが心配になるほどのサービスで、参加された方は本当にラッキーだったと思います。

先輩ガイドも講習のとき「普段は絶対に見せない。見せてもレプリカのみ。」と言ってた位ですから我々主催者側も有り難かったです。

その後は番所跡から権現通りを散策し早吸日女神社へ。

神社の起源は、神武天皇が東征の途中で速吸の瀬戸(豊予海峡)を通りかかった折りに、海底から海女の姉妹が<sup>おおだこ</sup>大蛸が護っていた神剣を取り上げて神武天皇に奉獻し、天皇自らがこの剣を御神体として、速吸日女を奉り、建国を請願したのが始まりであるとされます。

ここでは本殿の屋根の珍しい造りや、「蛸絶ち祈願」の説明をしたりと四苦八苦でした。

神社を出て市民センターへの帰路、最初のサプライズとして神社そばにある御菓子処「高橋水月堂」さん

にて「関あじ関さば最中」とお茶のサービス。

お昼時を少し過ぎていたのでおいしそうにかぶりつく人もいればお土産にポケットに入れる人も…。

このあと海産物問屋「宝屋商店」で海産物のお土産を買い、市民センターに戻って閉会式をしました。



(当日の参加者)

ここで二つめのサプライズとして、参加された中で、女性と子供さんに関あじ関さば最中を優先的に贈呈し、三つめのサプライズとして「道の駅さがのせき」で「クロメ汁」が無料で味わえるという事を伝えると「おー」という声があがりました。

参加された皆様方には、昼食時間も配慮しない強硬日程なセミナーで、申し訳ございませんでした。(謝)

今後の活動予定としては、龍馬達が佐賀関に止宿後、佐賀関の山を越えて鶴崎に向かったとされる「伊予街道」の一部が現存しているとのことから、そのルート先輩ガイドの案内で調査する予定です。

調査結果が面白かったら記事にできるかもしれませんが「分け入っても分け入っても青い山」(山頭火)になるかもしれません。

それではまた。佐賀関支部でした。



# MY WORK

## ★設計者

建築士会宇佐支部 金田舞香

## ★施工者

(有)金田建設

## ★設計趣旨

まちなみ修景

宇佐神宮勅使街道に面した店舗兼住宅の景観まちづくりの改修ということで、景観形成ガイドラインに従い、改修を進めました。

洋館のような外観からの、街並み調和を重視してほしいとの行政からの要望と、今後の修景にも影響のない計画で、和を基調として洋館のイメージを残しつつ計画を立てようと考えました。初めての景観改修ということで、同地域内のまちづくりを参考にさせていただきました。昭和初期の建物で計画通りの施工が難しいところもありましたが、施工者の協力もあり要望通りの景観形成を行うことができました。



## ★建物名称

上手平屋の家

## ★建築場所

日田市上手町

## ★設計者

(株)KAKUDO 笠原健彦

## ★施工者

(株)KAKUDO

## ★構造・面積

木造平屋建て 163.16㎡

## ★用途

専用住宅

## ★設計趣旨

南側道路に面し、長閑な住宅街に建つ平屋の家。

計画時、夫婦・子ども2人・両親と6人家族で、皆均等に部屋が必要とし、明るく風通しを良く急な来客にも対応出来る様にと、課題を与えられた。近い将来に長男の結婚同居も踏まえた上での配置計画。リビングを中心に和室と並列させ、大勢の来客にも対応。リビングを囲むように各部屋を配置し通風採光を確保した。断熱材を、断熱遮音耐火に優れているアップルゲートセルローズ断熱とし、リビング天井を曲線にする事で冷暖房を最小温度で最大限に発揮させる事を実現。床には日田杉本実板を使用、同じく腰壁・天井にも使い、手触り足触りが心地いい暮らしを育む事の出来る家造り！





# BOOK My Best Book

マイベストブック

【学校建築ルネサンス】上野淳／鹿島出版会

大支部 安東佑剛

なぜ、学校には「片廊下一文字型」の建物が多いのか、知っていますか。

なぜ、教室には「決まった方向」に黒板がついているのか、考えたことがありますか。

美術館や博物館は、数年に一度、全国でコンペやプロポーザルで選ばれた建築家しか設計する機会がないことを考えると、学校は絶対数が多いため、その機会は比較的多い建物と言えるのかもしれませんが。けれども、住宅等に比べると圧倒的にその数は少ないわけで、実際に設計したことのある建築士の方が少ないのではというのは想像に難くありません。ましてや、新設する計画など“ない”に等しい人口減少社会ですので、ゼロから学校を設計した経験があるのは、昭和の人口ボーナス期を現役バリバリで渡り歩いてきた大ベテランの方々ぐらいのものでしょう。

さて、私自身が設計したわけではないのですが、ひょんなことから、担当者としてゼロから（全くのゼロではないのですが）学校を設計する機会に立ち会うことができましたので、その際に手に取って読んだ本を紹介いたします。

私は、公務員という仕事柄、主に学校関係の建物を設計・工事監理する立場にいたのですが、改修の場合がほとんどでしたので学校を“建築計画的に設計する”対象として考えたことはありませんでした。（ここらへんは、生まれ育った大分の学校の建物にも課題があるようにも感じます。）

著者である上野さんは長く大学で建築計画の研究をされてきた、学校建築の第一人者です。この本には、学校建築の成り立ちから近年の良作に至るまでの系譜が、計画的なポイントの変遷とともに数多く紹介されています。もちろん、はじめの問いに対する答えやその理由に至るまでちゃんと書いてあります。私のような初学者にも分かりやすくまとめられている本ですので、今回の設計においても“引かれる線”ひとつひとつの意味を理解する大いなる助けとなりました。

よくよく考えると、学校は成長する過程で誰もが経験する建物ですし、また、学生の課題では必ず設計テーマとされる建物ですので、色々な魅力が詰まったもの

なのかもしれません。造形的・空間的ないわゆる“建築”ではないのかもしれませんが、学校もれっきとした“建築”なのだろうということを、ここで改めて感じています。

みなさんも一度手に取ってみてはいかがでしょうか。実際に設計していなくても、誰もが経験している建物だからこそ「なるほどね」と思うことがあるかもしれませんよ。（了）





# My Best Book



マイベストブック

【採用基準】伊賀泰代著／ダイヤモンド社

大支部 佐藤 誠

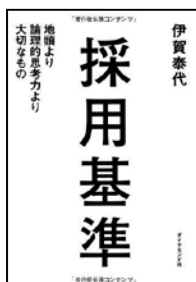
私が大学で学んでいた20年近く前、叩き込まれた(洗脳された?)ことと言えば、「建築形態論」、「ネットワーク論」、「フラット論」。そして、20年もの間、実践を試みているが、未だ結果を出せずにいることが、前述の3つの「論」だ。

1970年代、サッカーオランダ代表が採用したトータルフットボールという戦術は、「ポジションが流動的で、且つ全員攻撃全員守備」(※ウキペディアより)と一般的に定義される。FWと呼ばれるシュートを決める人、DFと言われる敵の攻撃を防ぐ人がそれぞれ与えられた役割を果たすという「近代サッカー」から新たな時代「現代サッカー」の幕開けであったと捉えている。

一般的な組織構造は上の指示に従って動く階層－ヒエラルキー型(ピラミッド型、ライン型)であろう。指示に従って動くだけなので「楽である」とも言われるが、組織を統制する上で、理想なのかとも思えるので否定はしない。しかし、しかしだ。与えられたポジションで与えられた仕事だけを果たすことに少々退屈さを感じないだろうか。流動的なポジションで、かつ全員参加のフラットでネットワーク的な組織に魅力を感じないだろうか。アップルやフェイスブックのようなフラット組織に憧れないだろうか。

フラット組織は魅力的であるが、その構成員の資質により、必ずしも良い結果が出せる訳ではないという危うさも持つとされる。本書はリーダー、リーダーシップについて書かれた、「ビジネス書」であるが、フラット組織を考える上で大きなヒントを得ることが出来る。真のリーダーとは何か、求められるリーダーシップとは何か、チームとは何か、組織とは何か、社会とは何か、既成常識は正しいのか、多くのことについて学び、考えさせられる。

著者が元大手コンサルタント会社で働いていたこともあり、平易な文章であり、非常に読みやすわかり易い。もちろん就職活動にも役立つであろう(本書の論述を旧態組織の採用面接に持ち込むのは危険かもしれないが)。



【1Q84 Book1～3】村上春樹著／新潮社

大支部 佐藤 誠

先ずは申し上げておきたい。ハルキストではない。『風の歌を聴け』は30ページ程読んだところで数年経つ。『ねじまき鳥クロニクル』は2巻で完結だと思ひ込み最終巻は未読のまま。『ダンス・ダンス・ダンス』『国境の街、太陽の西』『海辺のカフカ』『スプートニックの恋人』『アフターダーク』にいたっては書棚に並んでいるだけのコレクションと化している。

『ノルウェイの森』以来、25年ぶりの本書は村上作品定番の「ジャズバー」で「読む」ならぬ「地元の某ファミレスで夜を明かす」ほど、ハマってしまった。

多くの村上作品の特徴である、パラレルに物語が進行していくという形式で、W主人公である「天吾の物語」と「青豆の物語」が各章交互に描かれる。幼い頃、わずかな接点があったが、離ればなれになって迎えた1984年を舞台に物語は進む。個別に過ごす1984年、「様々な事象」(「ゴーストライター」、「殺人」、「宗教団体」などなど)を経ていく中で、次第に1Q84年という不思議な世界へ入っていく。お互いの深層心理の中に隠れていた「思い」は、「様々な事象」を体現する中で、徐々に繋がり、関係していく。

村上作品の魅力の一つは、その繊細で詳細な描写であろう。あまりに詳細であるため、思わずななめ読みしてしまうという読者は私一人ではないはず。本書に於いてもその特徴は存分に表現されていることは言うまでもない。

また、珍しく三人称で描かれているため、非常に読みやすい。

1984年(現実)と1Q84年(非現実)という異界への移動は難解なストーリーではあるものの、他の村上作品同様にシームレスに展開されるため、何の違和感もなく読者を虜にする。

全3巻(文庫本は全6巻)という長編小説ではあるが、たまには、慌ただしい日常の中から、「ファンタジー」という世界はいかが?





# 第1回大分県建築士会 親睦サイクリング

大分支部 宿理 浩 司

平成27年11月15日に、第1回大分県建築士会親睦サイクリングを開催しました。

参加者は臼杵支部の三重野氏、佐賀関支部の渡邊氏、大分支部より山村氏と宿理の4人。また、佐賀関支部の松崎氏はサポートバイクとして応援に来ていただきました。

10時に臼杵市役所に集合し、高橋臼杵支部長から歓迎と応援の挨拶をいただき、いざ出発。

当初の計画ルートは、津久見までの往復とし「まぐろ丼」を食す予定でしたが参加したメンバーは健脚ぞろいのサイクリスト挨拶をする高橋氏



急遽コースを変更し、佐伯までに延長しました。

前日の雨の影響を心配していましたが、お日柄もよくということで杞憂に終わり一安心!



あれっ宿理がない…



臼杵市役所を出発し、臼杵石仏から乙見地区を経由、国道10号線に抜け、野津町から佐伯市へアプローチ。

往路は、行程の半分以上を渡邊氏が先頭を走り、メンバーをぐいぐい引っ張っていただきました。(私は道がわからないとの言い訳で、後続走行で楽でしたが…)



佐伯市での昼食は、佐伯市役所近くの『魚喜家』で海鮮物に舌鼓を打ちました。

大盛りの海鮮丼を完食するも、食べ過ぎによるリタイヤが頭をよぎりましたが、味は間違いありません!非常に美味しいんです。ぜひ皆さんも舌鼓を…



あふれかえる海鮮丼

食後は、昼休みとして『佐伯市平和祈念館やわらぎ』を見学しました。

真珠湾攻撃の際、佐伯海軍航空隊がこの地より飛立ったという史実や戦争の悲惨さを後世に残す施設として平和について考えさせられるものとなっています。

私もお腹の満腹感を忘れ、展示品を食い入るように観覧させていただきました。



さらに、海軍航空隊が佐伯市に誕生し経済効果を期待し喜んだ市民が、戦争が進むにつれ戦争が人の命をいとも簡単に奪うものという現実を突きつけられるまでの過程も学ぶことができ、非常に有意義な見学となりました。

さて、いよいよ折り返しです。復路は国道217号を臼杵に向けて走ります。海岸沿いの道路では季節風の間かい風を受けるも、時速30kmをキープ。

津久見市～臼杵市間の山越えでは、汗をほとばしりながら頂上をめざして足を回し続け、たどり着いた時の解放感はたまりませんでした。

ここでは、山村氏が他のメンバーをぶっちぎりで引き離し、三重野氏は御年65歳という年齢を全く感じさせない力強さを見せてくれました。

「日頃のトレーニングは嘘をつきません！これは建築業務にも通じますが…」

臼津峠を越えてからは、ゴールの臼杵市役所へ向けてひた走り、無事に到着しました。

総走行距離は、83.7km。実走行時間3時間30分。平均速度、23.8km。でした。

この長い道ゆりを、11月半ばとは思えない気温の中、暑さを感じつつ風を切るのは非常に心地いいものでした。

今回は第1回目ということで、参加者は少なかったものの、大分の美味しいもんを食し、素敵な風景や建築物等を見学し、有意義なサイクリングとなりました。

第2回目の開催を期待し、自転車でいろんな場所を訪れ、見学したいと思います。みなさんも、サイクリングに興味があれば参加しませんか？

色んな仲間と共に走りましょう！  
いろんなところに行きましょう！  
美味しいもんを食しましょう！  
素敵な風景を見ましょう！

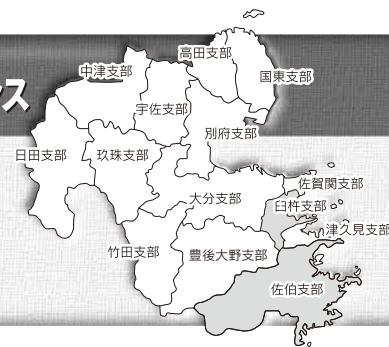


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和59年生まれ
- ★勤務先 臼杵市役所
- ★趣味 バスケットボール、日曜大工
- ★将来の夢、モットー等

臼杵市役所 ふるさと建設部 都市デザイン課の板井優也と申します。  
勤めていた建設会社を一昨年退職し、技師として11年ぶりに臼杵に戻ってきました。

前職でお世話になっていた中津支部、現在所属する臼杵支部共に活動的な方が多く、いつも良い刺激を受けながら、勉強させてもらっています。

普段は縁のないテーマに触れることも多い為、経験値が担当業務に偏りがちな中で、生きた情報交換ができる建築士会は本当に得難い場です。

現場管理から現場監理へと、仕事の立ち居地は少し変わりましたが、好きな建築を通して地元に貢献していこうという思いは変わっていません。

しかし、建築業界自体が徐々に縮小し、変化を迎えていく中で、建築と町への新しい係わり方を自分なりに探っているところです。

自分への課題として、問題に向き合うときは、出来ない理由を探すのではなく「どうすれば実現が出来るのか」を常に探る姿勢でありたいと思っています。



坂井 優也 (臼杵支部)

- ★生年月日 昭和63年生まれ
- ★勤務先 佐伯市役所
- ★趣味 サッカー、まちづくり、お菓子作り
- ★将来の夢、モットー等

初めまして。佐伯市役所で公務員をしています佐伯支部の河野です。

仕事だけでなく、プライベートでもまちに飛び込み、まちを楽しみ、まちを良くしていけるような、ちょっと変わった公務員を目標に日々過ごしています。

これから建築士会の活動に参加することで、多くのことを吸収し、それをまちに還元していきたいと思っております。

また、今年の全国大会が無事に成功を収められるよう、微力ながら頑張りたいと思います。

今後ともよろしくお願ひします。



河野 功寛 (佐伯支部)



# マーボの旅先日記<sub>その4</sub>



会長 井上正文

## 国宝城郭建築の動向あれこれ

国宝城郭建築指定の最低条件は、現存天守（現存する天守閣が再建ではないオリジナル）であることです。現存天守を持つ城郭は全国で12箇所あります。北から弘前城（青森県）、松本城（長野県）、丸岡城（福井県）、松江城（島根県）、彦根城（滋賀県）、犬山城（愛知県）、姫路城（兵庫県）、備中松山城（岡山県）、丸亀城（香川県）、松山城（愛媛県）、高知城（高知県）、宇和島城（愛媛県）です。現在これら12城はすべて、国宝指定か国重要文化財指定のいずれかの指定を受けています。このうち現在、松本城、松江城、彦根城、犬山城、姫路城の5城が国宝指定の城郭建築です。実は昨年（平成27年）7月に、松江城が国重要文化財から国宝に昇格となり、国宝城郭が5城となりました。私の国宝建造物巡りの中で、この国宝5城はすべて制覇（訪問）済みです。しかし、国宝指定以前には5回も訪問しているのですが国宝指定をうけた昨年7月以降の松江城訪問は、ありませんので、これで〈制覇〉という言葉を使うには若干の後ろめたさもあります。

ここで、少し建造物の国宝指定の歴史を紹介したいと思います。昭和25年8月までは、国重要文化財と国宝の区別はなく、すべて国宝（旧国宝）と称されていましたが昭和25年に制定された文化財保護法により、国宝（新国宝）と国重要文化財とに区別されるようになりました。これで旧国宝から国重要文化財となり、表面上は、格下げの形となったものも少なからずあります。この1例が高知城です。高知城天守近くには、〈国宝高知城〉の石碑がありますが、これは昭和25年以前に設置されたものなのです。この石碑の脇には、この経緯が書かれた説明書きもありました。

昨年7月に松江城が国重要文化財から国宝指定へと格上げされたことは前述の通りですが、これは地元自治体をはじめ多くの松江市民の国宝化に向けた真摯な取組や度重なる学術調査の成果

と聞いています。個人的には、天守の規模といい、外観の風格といい、松江城が国重要文化財城郭建造物の中で国宝への最短距離にあるとみていましたが、案の定でした。さて、次に国宝に昇格する城郭はどこでしょうか。



松江城天守



高知城天守



高知城の国宝石碑





## 事務局だより

### ○建設業法に基づく「監理技術者講習」を毎月(月上旬)開催しています。

(公社)日本建築士会連合会は国土交通省から監理技術者講習の登録講習機関として認定されました。これを受けて全国の建築士会でも「監理技術者講習」を実施していきます。大分県建築士会は毎月上旬に事務局会議室で開催しています。建築士会CPD6単位が付与され、テキストも建築系、建築設備系の監理技術者に有益な内容になっています。監理技術者でなくても技術研修としても活用してください。9月までの日程と申込方法は別紙チラシの通りです。11月以降の日程は別途建築士会HP等でお知らせ致します。

### ○インスペクター養成講習会を実施します。(7月中旬から参加者募集予定)

昨年、(公社)日本建築士会連合会は国土交通省からインスペクター登録講習機関として認定され、インスペクター養成講習会を全国で開催しています。大分県建築士会も今年は9月(日時は未定)に開催予定です。今後、宅建業法の改正が予定されており中古住宅の取引にインスペクション(建物現況調査)の斡旋等が義務づけられます。講習の修了者は日本建築士会連合会に登録され、登録者が検査した住宅は長期優良住宅化リフォーム推進事業においてリフォーム工事の助成対象とされるなどの業務の拡大につながります。講習募集の詳細は7月中旬にご案内します。

### ○建築士法に基づく「建築士定期講習」が開催されます。

第2回 日時:平成28年9月14日(水) 会場:大分職業訓練センター

申込は建築士会事務局まで。受付開始は7月1日からです。

定員は40名です。定員に達した場合は第3回以降の講習を受けて下さい。

第3回 日時:平成28年12月15日(木) 会場:大分職業訓練センター 定員:40名

第4回 日時:平成29年3月22日(水) 会場:大分職業訓練センター 定員:40名

★お申込みは、窓口持参および郵送申込ができます。郵送申込の場合は、受講票返送用の「返信用封筒(住所氏名記入、82円切手貼付)」を忘れず同封してください。

★申込書の配布は建築士会本部・各支部および事務所協会で随時行っています。(公財)建築技術教育普及センターからダウンロードもできますのでご利用ください。

★申込方法、申込書の記入等詳細については、普及センターホームページにてご確認ください。

### ○熊本地震支援金にご協力お願いします。

4月14日、16日の相次ぐ震度7の大地震で被災された熊本県の皆様を支援する支援金を募ります。各支部単位で募金を集計し随時本部宛に送金願います。本部にも募金箱を用意しました。

### ○6月17日は「通常総会」が開催されます！

出欠のハガキを5月31日までをお願いします！



○熊本地震被災建物応急危険度判定(南阿蘇村 4/22~4/29)

被災建築相談員(別府市 4/20~)等の災害支援活動を行いました。

(公社)大分県建築士会は熊本地震に関する行政協力として、大分県の派遣要請により4月20日からは別府市における被災建物の応急危険度判定に準じた調査・相談支援を行いました。特に別府市地域においては相談件数が多く、別府支部会員と国東支部会員が現地での相談業務に地元別府市建築指導課と連携して活動しました。

熊本県南阿蘇村への応急危険度判定支援についても民間判定士派遣要請が大分県からあり、士会からは延べ70名を派遣しました。大分県、大分市、竹田市、中津市等と建築士会等で4月22日から29日の8日間で1,388棟を、約58班体制で判定活動を実施し、赤判定681棟(49%)、黄判定347棟(25%)、緑判定360棟(26%)でした。

この度の経験を踏まえて、建築士会と大分県との地震被災時の応急危険度判定士派遣協定、さらには歴史的建造物の被災調査活動における関係行政機関との協力協定等について進めていくことが必要と思われます。

応急危険度判定活動報告(大分支部 陶山省二さん)

- ・26日、27日の大分隊(中津1名を含む4名)は26日9時に県竹田合同庁舎で合流し、3台の車で出発。57号、265号、325号経由にて11時頃無事に南阿蘇長陽庁舎に到着。
- ・ミーティング後、各々持参の昼食を済ませてから班ごとに割り当ての調査現場に向かう。大分班の担当地域は甚大な被害が出ている西部の地域(阿蘇ファームランド横の別荘地地区)。往路の道路も被災してはいたが、応急修理にて何とか通行可能。
- ・夕刻5時まで判定作業(32棟、大半が赤判定)。庁舎に帰還後直ちに調査同組の後藤さん、佐藤さんがパソコン入力を終えて、この日の作業は無事完了。
- ・真っ暗な中、一路「ピラマイルド」という宿(ロッジ風)に向かう。高森寄りのこの宿付近では被害は軽微な模様。持参のカップ麺で夕食。入浴は出来た。
- ・翌27日：朝から雨。8時前に同じく長陽庁舎に集合。ミーティング後、直ちに昨日の割り当て区域の内未判定の残りを判定(10棟)。雨天により何かと能率が落ちたが、10時過ぎに無事完了して庁舎に帰還すると、新たに別な場所の割り当てが待っていた。何と、そこは烏帽子岳の裾野に幾つか点在する集落の一つ=袴野という地区(戸数十数戸)。
- ・これ以上は傾斜がきついので居住には不適というような高台集落の一つ。宅地の周囲が崖地だけに被害は甚大で全て赤判定。建物だけでなく宅地地盤には無数の亀裂が走り、崖は各所で崩壊。これでは当分の間居住不能?2時半頃23棟程判定したところで、帰還要請の連絡が入って、即庁舎に帰還。調査表の未記入箇所を整えた後提出。3時半頃庁舎を後にして、一路大分へ。





# 「監理技術者講習」開催のご案内

登録講習機関登録番号第12号 (登録日平成27年6月22日) 公益社団法人 日本建築士会連合会  
**監理技術者講習とは**

建設業法第26条第2項の規定により、元請負の特任建設業者が当該工事を施工するために締結した下請契約の請負代金総額が3,000万円以上(建築一式工事の場合は4,500万円以上)の工事には監理技術者を専任で配置することが義務付けられています。そして監理技術者として建設工事に携わる方は監理技術者講習を受講しなければなりません。日本建築士会連合会では、国土交通省から同講習の登録講習機関として登録を受け監理技術者講習を実施します。また、本会の監理技術者講習は法定講習であると同時に建築士会CPD認定研修でもあります。設計者の方々も建築施工の知識を得るためにこの機会に積極的に受講してください。

## 建築士会の監理技術者講習の特色

- 特色1** 建築工事に特化した講義内容と充実したテキスト(OD付き)  
 他の登録講習機関の同講習は建築、土木ほか一体の講義内容ですが、本会では「建築工事に特化した講義内容」と建設セネコン第一人者、学識経験者の執筆者による業務に役立つテキストを使用します。  
 さらに、特化して「一般建築士、1級建築士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士」等の「建築工事分野で活躍されている監理技術者」にとりましては充実した講習となります。
- 特色2** 土木系の監理技術者が受講された場合でも、監理技術者講習修了証を交付いたしますのでご安心ください。  
 公共工事入札等での加点\*となる建築士会CPD単位が取得できます。  
 本会の講習修了者はCPD単位6単位が取得できます。

**特色3** 平成27年12月現在、42道府県、32市、内閣府、国土交通省の工事入札、入札参加資格審査等において建築士会のCPD実績証明書\*が加点等に活用されています。  
 さらにWEBでもCPD単位が追加取得できます！  
 本会の講習修了者は上記のCPD6単位の他、受講者専用マイページにログインし、WEB上でCPD問題に解答・正答することとさらにCPD単位が取得できます。

\*建築士会のCPD制度への参加が必要です。また、CPD実績に対する加点評価の扱いは行政機関により違いがあります。

## 講習開催日程・講義内容・時間割

* 平成28年	4月13日(水)
* 平成28年	5月11日(水)
* 平成28年	6月8日(水)
* 平成28年	7月6日(水)
* 平成28年	8月10日(水)
* 平成28年	9月7日(水)
* 平成28年	10月12日(水)

- 受付開始 8:45
  - 講習+試験 9:15~17:10
  - 定員:各回15名
- ◆会場: (公社)大分県建築士会 会議室  
 大分県大分市城崎町1丁目3番31号  
 富士火災ビル3階 (〒870-0045)
- ◆交通アクセス  
 ・JR大分駅から 徒歩約15分  
 ・大分バス 県行前バス停から 徒歩約5分

## ◆MAP



時間	講義内容	講師
9:15~9:35	建設業界の現状	DVD
9:35~10:15	監理技術者制度と職務	DVD
10:15~11:35	品質管理	DVD
11:35~11:45	休憩	
11:45~12:00	入札・契約制度	DVD
12:00~12:30	安全衛生管理	DVD
12:30~13:30	休憩	
13:30~14:15	施工計画と施工管理の留意点	DVD
14:15~14:45	環境管理	DVD
14:45~14:55	休憩	
14:55~16:35	最新技術と材料の動向	DVD
16:35~16:45	試験準備	
16:45~17:10	試験・修了証の交付	

◆お車で受講の場合は事前に建築士会事務局へご相談ください。周辺が「+」が、をご案内します。( ☎ 097-532-6607 )

## 別紙チラシ

## 講習のお申込み方法

\*申込み方法ほか詳細は、連合会のホームページもご参照ください。

- WEBからのお申込み  
 本会のHPのお申込み画面から、必要事項の入力と顔写真のアップロードを手順に従ってお申込みください。
- 郵送・窓口でのお申込み  
 専用の「申込書」に必要事項を記入し、所定のサイズ・形式の顔写真と金融機関への受講手数料の払込受付証明書を貼付し、連合会へ郵送・ご持参により提出してください。申込書はHPからダウンロードもできます。
- 受講票の送付  
 受講手数料の入金を確認次第、受講票をメール送信または郵送いたします。講習当日にお持ちください。
- 受講手数料(テキスト代、講習修了証代、消費税込)  
 ① WEB申込みの場合 1名 9,500円  
 ② 郵送・窓口申込みの場合 1名 10,000円
- 受講手数料のお支払方法  
 ① WEB申込みの場合 1名 9,500円  
 下記の口座へのお振込み、クレジットカード決済、コンビニエンスストア、ペイジーでのお支払いのいずれかがご利用できます。詳細はHPをご参照ください。  
 \*申込み手続き日から10日以内にお支払いください。期日を過ぎた場合は、改めて申込み手続きが必要になります。
- 郵送・窓口申込みの場合  
 下記の口座へお振込み願います。\*クレジットカード決済等のご利用できません。  
 ⑥ 受講手数料お振込先

金融機関名 三井住友銀行 三田通(ミタドオリ)支店  
 口座番号 普通 8402837  
 シヤ)ニホンケンチクシカイレイングワカイ  
 口座名義 公益社団法人 日本建築士会連合会

## 身分証明書の携行のお願い

講習当日、受講者ご本人の確認のため、顔写真の入った下記の身分証明証をお持ち下さい。  
 お忘れになった場合は、講習当日に講習修了証の交付は出来ませんのでご注意ください。  
**【携行いただく身分証明証】**  
 監理技術者資格者証、一級建築士携帯型免許証明証、施工管理技士資格者証等、自動車等運転免許証、パスポート、その他の機関の発行する顔写真入りの身分証明証。

## 講習修了証の交付

全ての講義と試験の終了後に交付いたします。  
 ただし、申込期限を過ぎて申込・受講された方には、講習修了2週間後にお送りいたします。  
 また、当日、遅刻・早退・途中退席のあった方は交付できませんので予めご了承ください。

## 全国の監理技術者講習会開催情報

日本建築士会連合会のホームページで、全国の建築士会の監理技術者講習の開催情報を掲載しています。開催情報は、適宜追加・更新をしています。

## 【申込書の送付先・各種お問い合わせ先】

公益社団法人 日本建築士会連合会「講習本部」  
 \* ホームページ <http://www.kenchikushikai.or.jp/>  
 \* メール [kanri@kenchikushikai.or.jp](mailto:kanri@kenchikushikai.or.jp)  
 〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 ☎ 03-3456-2061

【監理技術者講習に修了した個人データの個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を遵守し、個人情報の保護に努めます。受講申し込み者、講習修了証の個人データを個人情報の保護に努めます。】

#### 広報委員

担当常務理事 宮崎隆博  
委員長 後藤悟  
委員 常廣竜也  
委員 濱野一明  
委員 津久見 佐藤敏孝  
委員 日田 佐藤博  
委員 中津 佐藤博

#### 編集委員

担当常務理事 亀谷芳久  
委員長 高田後藤憲二  
委員 高田 足立忠明  
委員 大分 足部和久  
委員 大分 岐高雄介  
委員 大分 日高淳一  
委員 大分 都瑠輝博  
委員 別府 小山秀博  
委員 国東 野田忠彦  
委員 臼杵 佐藤暢昭  
委員 津久見 山本忠孝  
委員 佐伯 長田寛治  
委員 佐伯 疋田子順  
委員 佐賀 井上雅也  
委員 豊後 野佐藤勤也  
委員 竹田 玉田智憲  
委員 玖珠 白地泰幸  
委員 日田 伊藤照博  
委員 中津 佐藤博昭  
委員 宇佐 渡邊賢一

建築士大分 2016.3 No. 116

(非売品)

平成28年5月27日 印刷

平成28年5月27日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

# 建築士

# おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0907	別府市幸町 8-32 (株)ユウキ内	0977-22-1921
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下 1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2436	津久見市上宮本町 6-22	0972-82-8806
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-23-6099
豊後大野	879-7131	豊後大野市三重町大字市場 2 区	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0025	日田市田島 1-7-43-1F 102 鈴木建築事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会